



第1017号  
2006年12月10日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nskk.org](mailto:comm.tko@nskk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇12月の代祷・信施奉献先  
▽聖書の主日(降臨節第2主日)▽世界エイズデー▽聖救主福祉会のため▽部落解放キリスト者運動のため

▽教区SS連絡会企画・編集の「こどもにゆーす」06年クリスマス号が10日付で発行され、各教会日曜学校で配布されている。

▽東京聖マリア教会の平和を祈るクリスマスコンサートの12月17日(日)14時から、コンビーニ・ディ・クリスタの出演で。入場無料(会場献金)。電話03(3492)2982。  
▽立教女学院聖マーガレット礼拝堂で、シャルパンティエ作曲「真夜中のミサ」によるクリ

今週・来週の予定

12月10日~23日

- 10(日) 降臨節第2主日  
主教巡回 小金井聖公会
- 11(月) 幼稚園委員会  
聖職養成委員会
- 12(火) 銀座朝祷会
- 13(水) 信仰と生活委員会  
礼拝音楽委員会
- 14(木) 多摩G牧師協議会  
(聖マルコ)
- 15(金) 公開説教(主教座)  
財政委員会  
主教座聖堂活動委員会  
信徒講座「教会改革の足跡」
- 17(日) 降臨節第3主日  
合同堅信式(主教座)
- 19(火) 常置委員会
- 20(水) 教役者レクイエム(主教座)

スマス礼拝を12月17日(日)10時からささげる。説教||中村邦介司祭、Or・指揮||岩崎真実子で同礼拝堂聖歌隊の奉唱。照会電話||03(5370)3038(月・火・木・金)。  
▽立教女学院は古今聖歌集のアーカイブ化を計画し、『クリスマスCD vol.1』久しく待ちにしの「聖マーガレット礼拝堂のクリスマス」を頒布している。Or・指揮||岩崎真実子、合唱||同院高等学校聖歌隊・聖歌隊OG有志、頒価||2千円。照会電話||03(3334)5105。  
▽教区合同堅信式が12月17日(日)15時から聖アンデレ主教座聖堂で行なわれる。

(この用紙は再生紙を使っています)

この夏、COAの夏キャンプのお手伝いとして参加しました。今まではCOAという「にぎやかだな」程度の認識でしたが、縁あってかわるようになりました。

COAができて6年くらいでしょうか。スタッフは代を重ねて今は、COAができて初めてのキャンプのとき初めてキャンプに参加した中学一年生だった人たちが中心とのこと。今までの参加者から中高生を支える立場へと役割が変わることに「肩に力が入りすぎているのでは？」と思うこともあり、良いキャンプを作ろうと準備やミーティングを重ねていました。

もちろん何事もスムーズに進んでいくことはなく、準備段階ではやりたい

《恵みに生かされて》

COAの青年たち

執事 須賀 義和

す。

日曜学校などの様々なつながりを通して、青年たちが育ち、成長しているというところに、わたし達の教会自身が恵みの中に生きているという大切な証しがあるように思えます。

(東京聖十字教会牧師補)

こととできることの違いやスタッフ同士のコミュニケーション不足、また、なぜ教会との関わりの中でやっていくのか等の課題が現れましたし、キャンプ中では初めての参加者をどうフォローして仲間の輪に入れていくのか等々、時には厳しいやり取りもありました。

どうやら、悩みや失敗を繰り返しながらも、すべてを自分たちで考え、準備して作り上げていくというのがCOAのよう

## ◇人事◇

中川英樹司祭

聖公会神学院出向解任(11月

30日付)

東京聖マリア教会管理牧師解

任(同日付)

聖アンデレ主教座聖堂付任命

(12月1日付)

鈴木裕二司祭

東京聖マリア教会管理牧師任

命(12月1日付)

## 信仰と生活委員会報告

(11月24日)

\*各教会G報告、支援部会報

告、主事報告、主教報告など

\*明年度の信徒講座について協

議〓今年度の各講座のほか2

講座・講演などを検討(継続)

\*雨宮神父講座(旧約)の講演

冊子の作成進捗の確認

\*作成中の明年度代祷・信施奉

献先の継続協議

\*1泊研修について協議〓明年

2月を予定

\*その他

## オウルリムの会発足

教区正義と平和協議会主催で

10月、大韓聖公会ソウル教区を

訪ねた「オウルリムの旅」の参加

者を中心にして今般「オウルリ

ムの会」(代表・田光信幸司祭)

が立ち上がった。「大韓聖公会が

韓国社会との社会的、歴史的背

景の中で確固とした福音宣教の

姿勢をもって教会活動や社会的

活動を展開する姿を学びたい。

活動に関して柔軟に取り組

み、他の関係グループとも協働

し、成長をめざす。また今後、  
多くの方々に参加をよびかけて  
いく。▽東京聖三一教会ではクリ  
スマスコンサート「一緒に

歌いましょうクリスマスキャロ

ルを」を本日10日14時、催す。

入場無料(会場献金〓パレスチ

ナの子どもたちのため)。出演

〓ソプラノ小貫多喜子・ハープ

渡辺かや・聖歌隊他。照会電話

〓03(3421)3646。

▽信仰と生活委員会主催の

信徒講座「教会改革の足跡

：第4世紀 教会の変貌

I」(竹内謙太郎司祭・教区嘱

託司祭)が12月15日(金)19

時、21時、教区会館3階会議室

で開かれる。参加費500円(当

日、会場で)。

## 【教会グループ協議会報告・

## 今年の活動から】

## 4 山手

今年の幹事教会として、定められた行事すべて無事できましたことのお恵みとお導きを感謝します。

3年振りにグリーンデイピクニックを4月29日に、子ども中心に老若男女約200名の参加で楽しく行われました(聖公会神学院)。中でも今年の信徒の集いは、余り知られていない奉仕活動をされている方のお話でした。当教会の方と横浜山手聖公会信徒の両氏で、30数名のメンバーの中で、聖公会の信徒はこの2人のみのCMCCキリスト教メンタルケアセンターのお話です。この会は、相談者たちの電

話によって、告白・怒り・ぐち・不満・欲望等をぶちまける話を

一方的に聞くのみで、受ける方々の意見や励ましやアドバイスなど絶対言ってはならないルールという、非常に忍耐を要する驚きの話でした。その電話を通して、何回も受けることによって相手の方との信頼が生まれ、安心感が荒んだ言葉や、心の穏やかになる様を感じるようになることでした。

この奉仕は神様の御心の平安と私は受け止められ、これこそが本来の宣教と思われます。そして、今、求められている地域の中にある教会の存在を来年は、このグループの知恵をいただき、共に進めたいと願っています。

幹事・東京聖十字教会 富川洋

## 《今、この教会では》

## 渋谷聖公会聖ミカエル教会

当教会では2009年に創立100周年を迎えます。1908年に芝増上寺近くの信徒宅で始めた家庭集会在、翌年現在地にあつた信徒宅に移り、教会形成がなされたようです。震災後に建設された前聖堂は戦災を免れたものの老朽化し、現在の聖堂は1967年建設されたものです。その聖堂も築後40年という歳月の中で補修が必要となつているため、この機に100周年記念募金を始めたところです。信徒の老齢化が進む中でその募金は容易ではないのですが、先輩達の志を継いで宣教の器を整えるべく信徒一同心を熱くして努力しています。(山田益男)